

営農指導員の ワンポイントアドバイス

営農指導員 永奥 啓

直売所を活用しましょう！

庄原市内の直売所

庄原市には8カ所の直売所があります。

- ① 食彩館しようばらゆめさくら
- ② ウィル西城産直市場（西城町）
- ③ ファミリーマートAコープ西城店内産直コーナー（西城町）
- ④ 東城農産物直売施設「きんさい市」（東城町）
- ⑤ 口和交流拠点施設「モーモーション産館」（口和町）
- ⑥ 道の駅たかの「わいわい高原市場」（高野町）
- ⑦ 比和の特産市場（比和町）
- ⑧ 道の駅リストア・ステーション特産品館（総領町）



※写真は「東城農産物直売施設（きんさい市）」

直売所の特徴と出荷者の心得

気軽に販売でき、また気軽に買ってもらえるのが直売所です。直売所には、一般的に次のような特徴があります。

- どんな人が生産したものかわかりやすい。（生産者の顔が見え、安心して買える）
 - 生産地と販売所が近く、より新鮮な農産物を販売できる。
 - 地域の特産を求める人が訪れる。
 - 他の流通方法に比べ、中間マージンが必要ないため、消費者に比較的安価に提供できる。
 - 生産者が自分で売値を設定できる。
 - 出荷した農産物に対する消費者の反応を感じることができる。
 - 少量でも販売可能。
- ※ただし、出荷者それぞれに、責任を持って出荷・販売する姿勢が求められます。

最後に

このように、直売所は身近にありながら、非常に魅力的な販売施設です。ぜひ、うまく活用して、作って売る喜びを味わってみてください。

問い合わせ

農業振興課農業振興係
☎0824・73・1131

庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介しています。まちを知り、地元の新たな魅力を発見することで、人を、まちを、もっと好きになりますように。



西城での活動に積極的に取り組む長谷川 昌良さん

西城自治振興区で、地域マネージャーとして活動している長谷川さんに話を聞きました。

地元西城町に貢献したい

私は西城町で生まれ育ち、進学と就職のため一度は地元を離れました。その後、25歳の時に西城町に帰り、社会福祉法人に就職、地元で働きはじめました。その後、西城町は庄原市と合併し、社会福祉法人も合併しました。以降、市内7カ所に異動しましたが、ほとんど西城町に勤務することはありませんでした。

ヘルパー訪問や訪問入浴介護、福祉用具貸与サービスなどで、たくさんの方々にお世話になる中で、西城町に貢献したいとずっと考えていました。

しかし、帰りが遅くなると町内に住んでいても、地域の事や農業がなかなかできませんでした。そこで、1年前

に思いきって退職。本年4月から、西城自治振興区の地域マネージャーとして活動することとなりました。

子どもと一緒に地域活動

今までの経験を生かし、介護や福祉に関する教室を開いたり、高齢者世帯を訪問したりしています。

また、趣味の音楽を続けており、仲間とバンド活動をしています。西城町観光協会と協力し、町の活性化のため、ご当地ソングを3曲作りました。タイトルは「芸備線」「イザナミ」「ヒバゴン」で、地域のお祭りやイベントで演奏したり、YouTubeで配信したりしています。

町内で働くようになって、地域の行事や農業にすっかり関われるようになりました。その時は、なるべく子どもと一緒に参加するようにしています。私たち親世代が、自分たちの住んでいる町を悪く言うのではなく、楽しく地域に関わっている姿を見せることが、子どもに地域の良さを知ってもらう一番の方法だと信じてます。

これからも地域に根付いた活動をしていきたいです。

問い合わせ

自治定住課定住推進係
☎0824・73・1257